研修プランＡ３

子供の姿を授業記録等から捉え直し資質・能力のイメージを共有する

■目　的　　学んでいる子供の姿を授業記録等から捉え直し、協議の視点に沿って分析すること

で、学校として育成したい資質・能力のイメージを共有し、その具現に向かう授業改善

につなげる授業研究会です。

■対　象　　校内

■時　間　　８０分

■形　態　　全体→グループ→全体→個人

※グループの分け方：５人前後で教科や学年が混在しているグループ構成

授業者や研究主任はグループに所属せず、グループ協議を支援

■準備物　　□本時の学習指導案

□授業記録（子供と授業者の発話を記録したもの、静止画・動画記録、板書等）

□学習成果物（子供が自己の学びを表現したワークシートや製作物等）

□模造紙（グループ数）

□フェルトペン（グループ数×４色程度）

□省察シート（教師の研修の記録用、人数分）

□タブレット端末　※授業の静止画・動画の撮影や再生用として、状況に応じて用意

□プロジェクタ　※模造紙の記録等を全体で共有するものとして、状況に応じて用意

●研修前

〇授業参観にあたって確認しておきたいこと

・授業を参観する視点について　※この視点を「協議の視点」として、学校の実態に沿って設定

（例１）学校として育成したい資質・能力を具現している姿とその要因について

（例２）主体的・対話的で深い学びに迫る姿とその要因について

（例３）教科の特質に応じた見方・考え方を働かせ、ねらいに迫る姿とその要因について

・単元・題材や本時の授業における子供の実態、ねらい、ねらいに迫る手立てについて

・協議時の進行や役割について（グループごとで見取る子供の学習班の割り振り）

　・授業記録のとり方について、上記を踏まえて、子供の学びの様相を捉える場面を検討

●研修

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 流れ | 進め方 | 留意点等 |
| １ 研修の説明  【全体】（２分） | 〇会の目的、流れ、時間、形態、協議の視点をおさえて、見通しを持つ。 | 〇目的は上記「■目的」参照  〇流れは左欄「流れ」参照  〇協議の視点を中心に進めることを確認する。 |
| ２ 授業の振り返り  【全体】（３分） | 〇授業者より、授業を振り返って、協議の視点に関わる部分を中心に話す。 | 〇ねらいや願う子供の姿に近づくことができたか、という観点を踏まえる。 |
| ３ 質疑応答  【全体】（５分） | 〇授業を振り返り、協議に向けて必要と思われる点について、質疑応答を進める。 | 〇協議につながる質疑応答になるように、司会は進行に務める。 |
| ４ 協議  【グループ】（30分） | 〇協議の視点に沿って、担当した学習班の子供の姿を出し合い、模造紙に書き出していく。  〇出し合った中で、特に話題にしたい子供の姿を絞り、協議の視点に沿って進める。  〇授業者や研究主任らは、グループ間を回って、協議を支援する。 | 〇グループの分け方は上記「■形態」参照  〇見えにくい発話や思考過程等を、授業記録や学習成果物と照合して分析する。  （例１）Ａさんの学びが、教科の特質に応じた見方・考え方を働かせて深まったその場面や要因とは何か。  （例２）Ｂさんがねらいに迫るための適切な支援とは何か。  〇協議の中での疑問等に、その場で素早く応対していく。 |
| ５ 共有  【全体】（15分） | 〇グループの代表者が、グループ協議について協議の視点に沿って発表し、共有化を図る。 | ○次の点を踏まえて発表をすすめる。  ・子供の具体的な姿で  ・ねらいに迫った要因等の分析について  〇模造紙を撮影した画像をプロジェクタに投影する。もしくは、模造紙をそのまま活用する。  〇研究主任は、協議の視点に沿って、発表を整理する。 |
| ６ 方向性の明確化  【全体】（15分） | 〇グループ発表の内容を、成果と課題に整理し、今後の方向性を協議する。  〇今後の方向性を明確にし、次回の校内研修会への見通しを持つ。 | 〇グループ発表の内容を、プロジェクタや黒板などで見えるようにし、協議に役立てる。 |
| ７ 省察  【個人】（10分） | 〇今後の方向性を踏まえて、取り組むべきことを記述する。 | 〇次の点を踏まえて記述する。  　・個人として課題に感じていること  ・個人として取り組むべきこと |

●研修後

個人での省察を踏まえて、教科や学年ごとで目指す子供の姿を見直し、授業改善の具体的な在り方について話し合う。